

経営比較分析表（平成30年度決算）

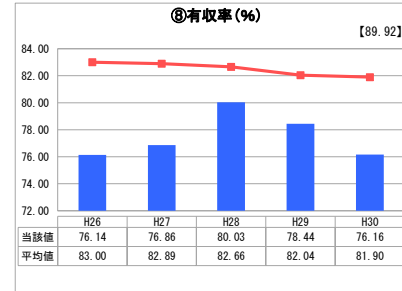
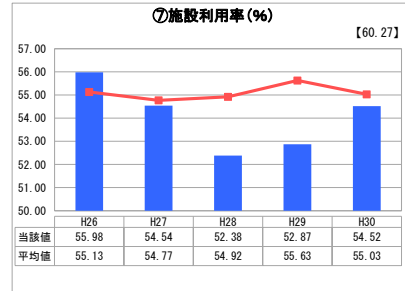
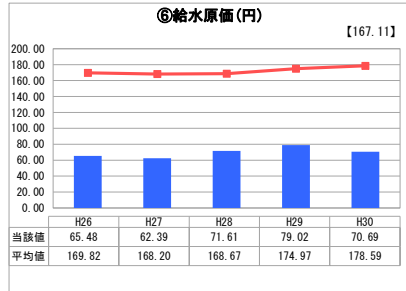
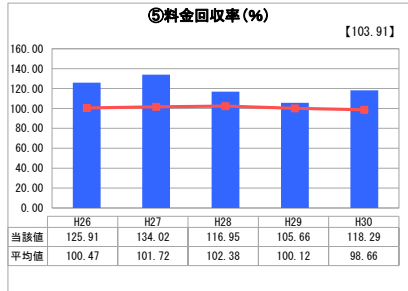
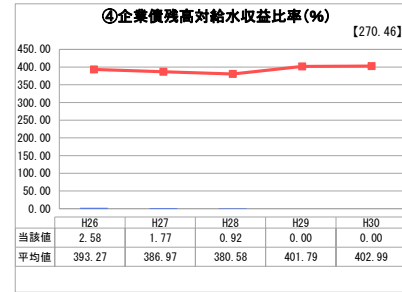
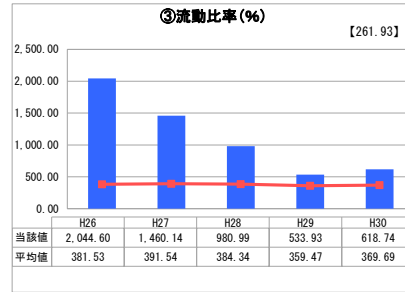
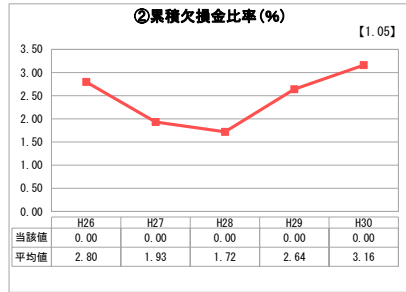
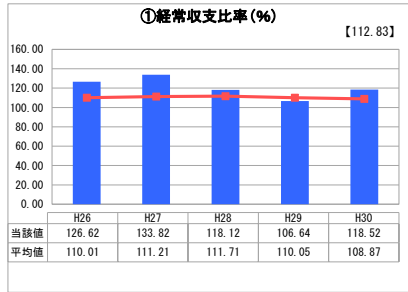
岐阜県 神戸町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)	
-	94.57	99.52	1,620	

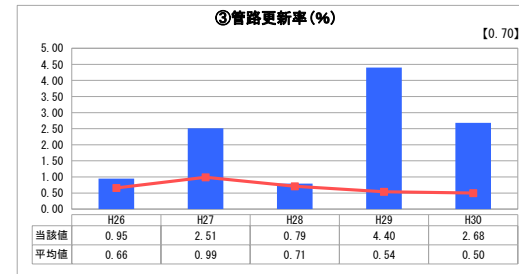
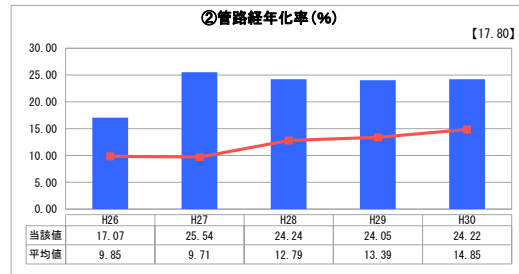
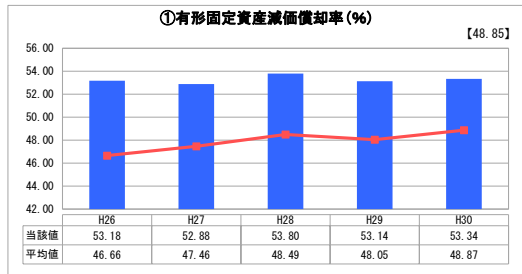
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
19,345	18.78	1,030.09
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
18,778	18.00	1,043.22

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

過去5ヶ年の経常収支は、年度によって若干の増減はあるものの何れも黒字となっており、累積欠損金はない。
 流動比率は平成29年度まで低下傾向にあったが、平成30年度は低下傾向が止まり、類似団体平均より若干高めを維持している。流動比率が高い水準に維持されていることから、短期的な資金面においてのリスクは低い。
 企業債は返済が完了し、現在は借入を行っていないため将来の返済負担がなく、長期的な経営の安定性が確保されている。
 料金回収率は常に100%以上となっており、水道料金収入による事業運営が可能となっている。
 給水原価は水道水源として良質な地下水が得られるため、類似団体と比べて非常に低くなっている。
 施設利用率は類似団体より低いが、近年は徐々に高くなり類似団体と同程度になっている。
 有収率は類似団体と比べて低く管路更新を積極的に行っているが近年は低下傾向にあり、今後も引き続き積極的に管路更新を進める必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は類似団体と比べて高く、施設の老朽化が進んでいる。そのため、施設の計画的な更新を検討する必要がある。
 管路経年化率は近年積極的に管路更新事業を行っているため増加しているが、類似団体と比較して高い割合となっている。
 管路更新率は近年積極的に管路更新事業を行っているため高い。

全体総括

これまで累積欠損金がなく、料金回収率も100%を上回っているため健全な経営状態にある。しかし、人口減少により今後は給水収益の減少が見込まれるため、支出の削減と収入の増加を検討していく必要がある。
 管路更新を積極的に行っているが、有収率は減少傾向にあるため、これからも引き続き有収率を向上させるため、管路更新を行っていく必要がある。
 有形固定資産減価償却率が類似団体と比較して高く、施設の老朽化が進んでいる。施設の更新には多額の費用と時間がかかるため、耐用年数を経過した施設について計画的な更新を検討していく必要がある。